



日本における聖心侍女修道会の歩み Pasos de las Esclavas en Japón

聖心侍女を日本に招いた人

第三次世界大戦前、当時の駐伊大使夫人、吉田雪子さんはローマの修道院で聖心侍女と出会い、日本にカトリックの教育機関が少ないことを語り、「もし日本において下されば、できるだけのお手伝いをさせていただきます」と約束しました。この出会いがきっかけとなり、一九三四年エルネステイナ・ラマリヨ他三名のシスターが日本に派遣されました。

「清泉」の歩みと共に：

来日後一年もたたないうちに、旧制高等女学校卒業者を対象とした「清泉寮」が東京の麻布、旧志賀直哉邸に修道女たちによって開設されました。これがその後の「清泉」の教育の始まりでした。戦後、長野と横須賀で再開された後、東京、長野、鎌倉で小学校、中学高等学校、大学、インターナショナルスクールとして展開されていきました。現在もこれらの教育機関を通して、イエス・キリストの福音的な価値観に基づいた教育が行われています。

困難な状況にある人々と共に：

ラファエラ・マリアの描いた修道会の理念を実現するために欠かすことのできない視点は、社会的、あるいは経済的な困難に直面している人々との関わりです。日本においても貧困や人権問題に関心をもち、難民・移住者・移動者やホームレスの人々への支援活動を、これまで名古屋、東京等で行ってきました。現在も様々な人々との協力体制を持ちながら、活動しています。また国内だけでなく、インド・フィリピン・東ティモールに日本人の会員を派遣し、支援活動を続けています。

略年譜と主な活動

- 1934年 聖心侍女修道会シスター来日
- 1935年 麻布に「清泉寮」を開校
- 1944年 長野へ疎開
- 1946年 長野清泉寮学院、横須賀にアメリカンスクール設立
- 1947年 横須賀に小、中、高等学校設立
- 1950年 横須賀に清泉女子大学設立
- 1968年 広島県三原にて保育園（～1993年）
- 1987年 名古屋における社会司牧（～2011年）
- 1994年 館林教会における司牧（～2005年）
- 現在 清泉における教育活動の他、難民移住移動者の支援活動等



日本に最初に来た四人のシスターと当時の総長

日本における清泉の姉妹校

- 東京 清泉女子大学
清泉インターナショナルスクール
- 神奈川 清泉小学校
清泉女学院中学高等学校
- 長野 長野清泉女学院中学・高等学校
清泉女学院短期大学
清泉女学院大学

Las Esclavas del Sagrado Corazón de Jesús



HIV 患者への医療活動、啓発（カメルーン）



世界に広がる聖心侍女修道会



民族の和解と自立支援（東ティモール）

聖心侍女修道会の現在 La misión de las Esclavas, hoy

いのちを与え、育み、癒し、守る女性として、イエスの使命を共に生きる
現代社会が抱える様々な問題に対して、私たちはイエス・キリストの福音的な価値観をもって向き合おうとしています。人権や環境にかかわる社会問題、教育や医療の分野、教会における信仰教育など、それぞれの場で求められる具体的な問題に対して働いています。



ユニバーサルなシスター同士の交流（イタリア）

「木に根がなければ生きられないように、エウカリスティアは、修道会を生かす命の根です」

エウカリスティアとは、イエス・キリストが私たちに与えた愛といのちを記念し、共に祝い、感謝することです。

私たちの活動の原動力は、イエス・キリストが教えた愛です。どの場においても、「神の似姿」としてつくられた尊い一人ひとりのいのちが十全に生きられるように願い、人々の痛みに寄り添い、一致と平和を生み出す女性として、聖心侍女の使命を生きています。